

いますが、こうした人が大人をバサバサとなぎ倒す様子は見ごたえがあります。大野北囲碁同好会の中には、このような人はいませんが、テレビや日本棋院相模原大会ではおります。その場合は、「ホ～」という声があちこちで聞けます！

つかの間の華(幻のバルーン！)

公民館まつり副実行委員長 安達 和夫

昨年のはぼり旗、そして今年はバルーンで盛り上げよう・・・みんなが熱望？していたことです。開催の前日から400個あまりの風船(バルーン)をみんなで膨らまし続け、それらをロープに繋いで屋外に。遂に見事なバルーン飾りが完成しました。

ところが、その頃から強風が吹き荒れて、風船同志が擦れあい、あちこちで、ポン、ポン、破ける音がするのです。明日までもつのか心配でした。案の定、翌朝の風景は、ほとんどが破れて見る影もなし、悲惨な状況！ほんとうに「つかの間の華、夢」でした！！

来年は一工夫して、より長く皆さまに楽しんで頂けるものが出来るといいですが・・・

他のイベント風景



学習会より



音楽のつどいより



屋外ステージより



編集後記

今年は、これまでにない猛暑、地球温暖化で毎年、確実に気温が上がっていく、そんな恐怖すら感じます。夏の開催は、厳しいものがあります。七夕と絡めた伝統ある「おのきた公民館まつり」、来年は・・・

(安達、吉田)